



咲つく南花台プロジェクトの位置付けと今後の展望

「丘の生活拠点」(南花台)創生事業 中間報告会

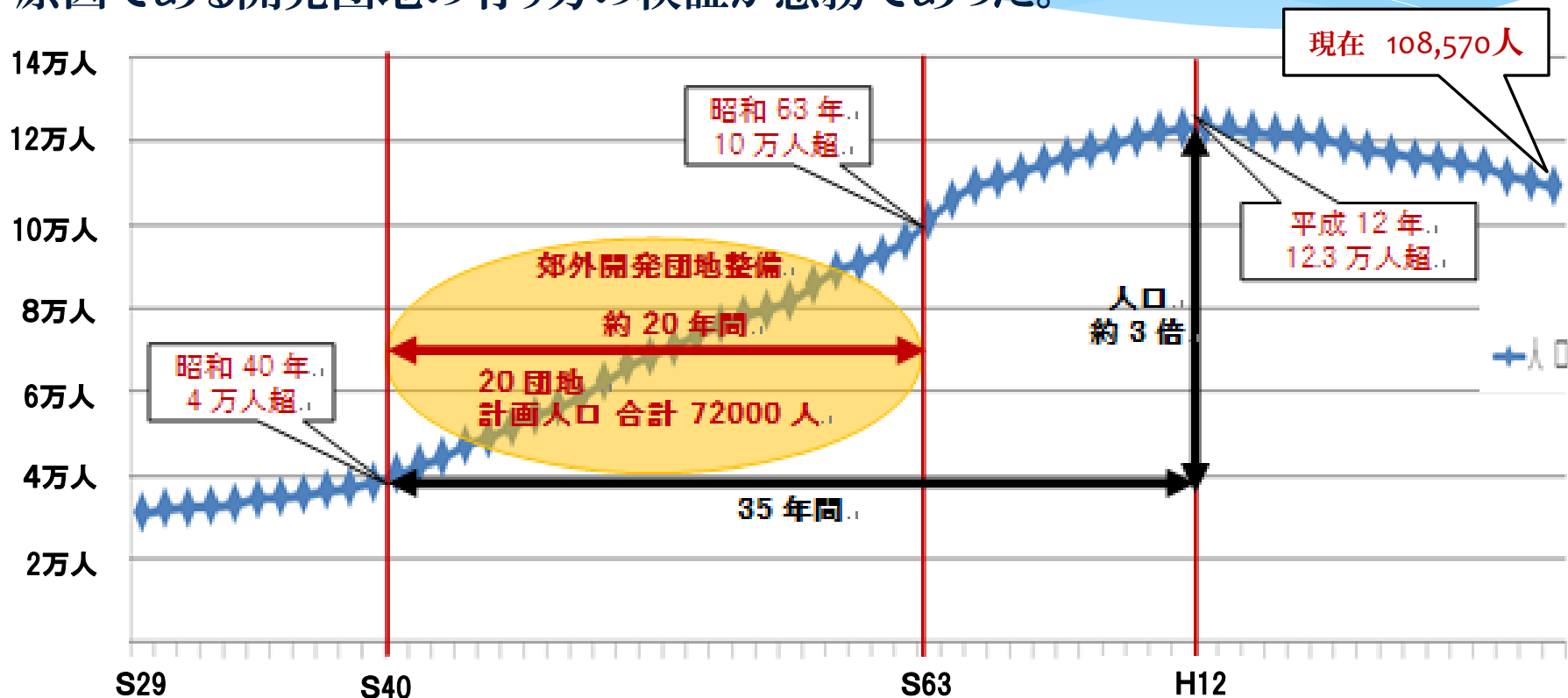


咲つく南花台プロジェクト 立ち上げのきっかけ

-2-

1. 開発団地再生モデル構築の必要性の高まり

本市は他市に比較し人口減少・少子高齢化が急速に進んでいる、その最も大きな原因である開発団地の有り方の検証が急務であった。



多くの開発団地を短期間で整備し、急激な人口増加を図った。



咲つく南花台プロジェクト 立ち上げのきっかけ

-3-

2. 南花台西小学校跡地活用

平成25年3月に閉校した南花台西小学校跡地の有効活用が急務であった。

- ・当初は地域コミュニティ施設として検討したが、課題解決が困難となり断念
- ・高野山大学誘致に取り組んだが、大学組織内での合意が得られず断念

まちづくりと一体的に検討し、地域の活性化に繋がる効果的な施設誘致を、地域の合意形成を図りながら進めていく。





咲つく南花台プロジェクト 立ち上げのきっかけ

-4-

3. 「団地再編COMPETITION 2013」実施による関西大学との連携

関西大学がUR南花台団地を対象地にし、「団地全体の仕組みの再編、その結果としての空間の再編、新たな暮らしの提案」をテーマとして実施



南花台を研究のフィールドにする関西大学

応募登録 172件
提出作品 23作品





咲っく南花台プロジェクト 立ち上げのきっかけ

-5-

4. 「スマートエイジング・シティ」の提言による大阪府との連携

大阪府市医療戦略会議7つの提言の1つである「スマートエイジング・シティ」の実現に向け、郊外型開発団地のモデル地区として南花台が選定された。

戦略案	メインとなる主体	キーとなる視点	ねらい	取組みに関わる他の主体
① 予防・疾病管理、府民行動変革	= 府民 保険者等	× 主役は消費者 治療から予防へ	→ 健康指標の向上 健康格差の解消	保健医療提供機関等、 基礎自治体、大阪府等
② レプトデータの戦略的活用	= 保険者等	× 支払者の行動変革 医療費適正化 医療の標準化	→ 医療の価値追求	府民、 保健医療提供機関等、 研究機関、大阪府等
③ 医療情報の電子化とビッグデータの戦略的活用	= 大阪府	× 創薬等とシナジー支援 医療データベース構築	→ 情報管理産業化	保険者等、 保健医療提供機関等
④ 地域密着型医療・介護連携最適モデル実現	= 医療・介護従事者 保健医療提供機関等 基礎自治体	× 多職種・多機関連携 市町村の主体性	→ 保健医療サービス 持続可能性確保	大阪府
⑤ 増益モデル型民間病院の高度化・経営基盤強化	= 民間病院 大阪府	× 増益モデル型 地域や規模の経済 資金調達システム	→ 保健医療サービス 持続可能性確保	大阪府
⑥ スマートエイジング・シティ	= 基礎自治体 大阪府	× サプライチェーン 仕組み・構造変革 まちづくり	→ 重要戦略産業振興 生活総合産業化	府民 保健医療提供機関等 企業
⑦ スマートエイジング・バレー構想（産業振興）	= 大阪府	× 研究・開発 実証インフラ 認証制度	→ Aging in Place	企業・研究機関等



「咲つく南花台プロジェクト」の経過

-6-

■平成26年10月

「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業立ち上げ

- ・毎月1回の総合研究会と地域ワークショップを実施し、地域の声を収集しながら、まちづくりを研究

■平成27年 4月

「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業本格実施 (地方創生先行型交付金)

- ・「健康寿命の延伸」と「元気な住民の活躍の場づくり」を柱とした総合的なまちづくりを進めていく
- ・「健康仲間づくり」「生きがいづくり」「みんなの拠点づくり」「まちの情報発信」「子育て・子育て環境づくり」「ストック活用」の6つのプロジェクトによる多様な取組みを同時多発的に展開

■平成27年10月

「コノミヤテラス」オープン

- ・コノミヤ南花台店空き店舗を無償で貸与いただき整備
- ・地域のまちづくり拠点の有り方を使いながら考える。
- ・コノミヤテラスを中心にまちの課題解決につながる仕組みを構築



「咲つく南花台プロジェクト」の経過

-7-

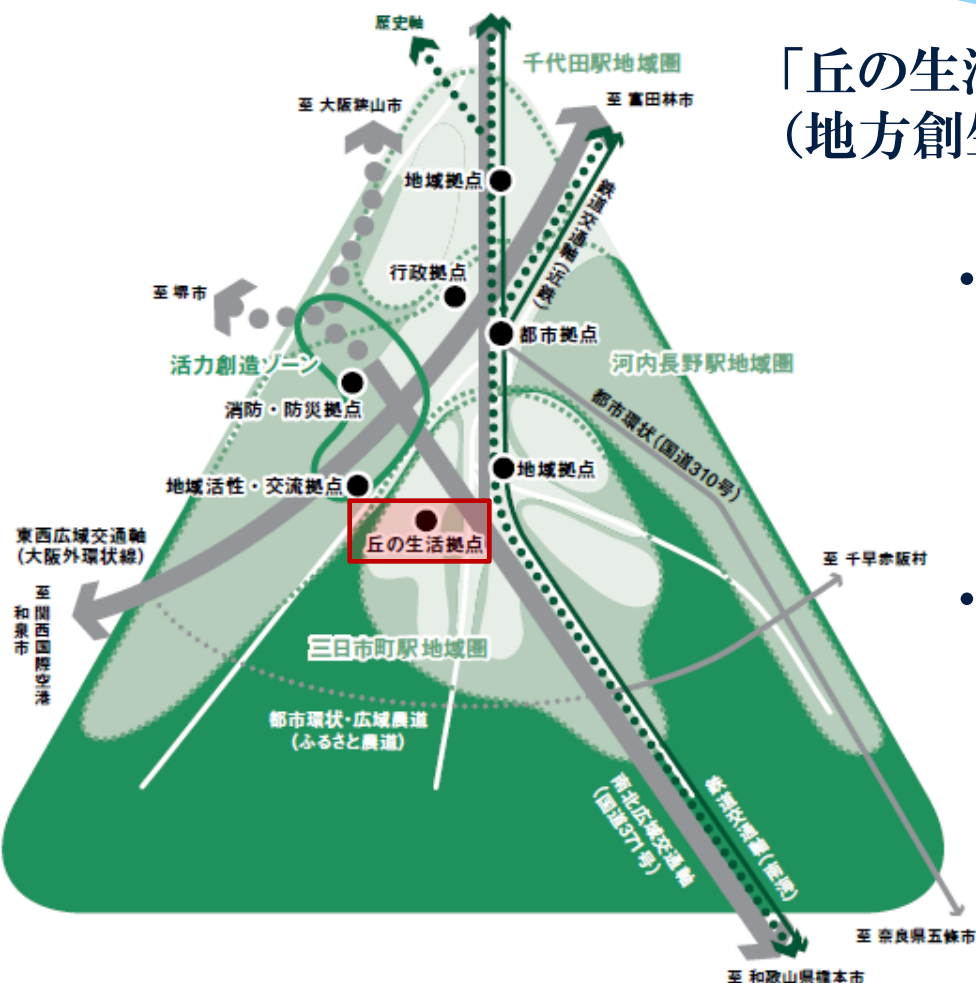
■平成28年 4月

第五次総合計画に南花台を「丘の生活拠点」と位置付け

「丘の生活拠点」(南花台)創生事業へ引き継ぐ
(地方創生加速化交付金)

・河内長野市南部の開発団地の生活を補完できる拠点化を目指す。

・周辺地域への広がり期待





「咲つく南花台プロジェクト」の経過

-8-

■平成28年6月

南花台西小学校を活用した錦秀会看護専門学校の設置

- ⇒平成28年1月覚書締結
- ⇒平成28年3月基本協定締結
- ⇒平成28年6月土地・建物契約
- ⇒平成29年1月校舎改修工事完了
- ⇒平成29年2月学校法人・看護師養成施設認可取得
- ⇒平成29年4月開校
- ⇒平成30年4月新課程増設予定

校舎デザイン

関西大
学が設
計提案

運動場の整備

人工芝
球技場
整備

体育施設の活用

地域へ
施設
解放

※地域との交流を通じ、特色ある教育を目指す。





「咲つく南花台プロジェクト」の経過

-9-

■平成28年12月26日

南花台団地集約型団地再生事業に関するまちづくり基本協定締結

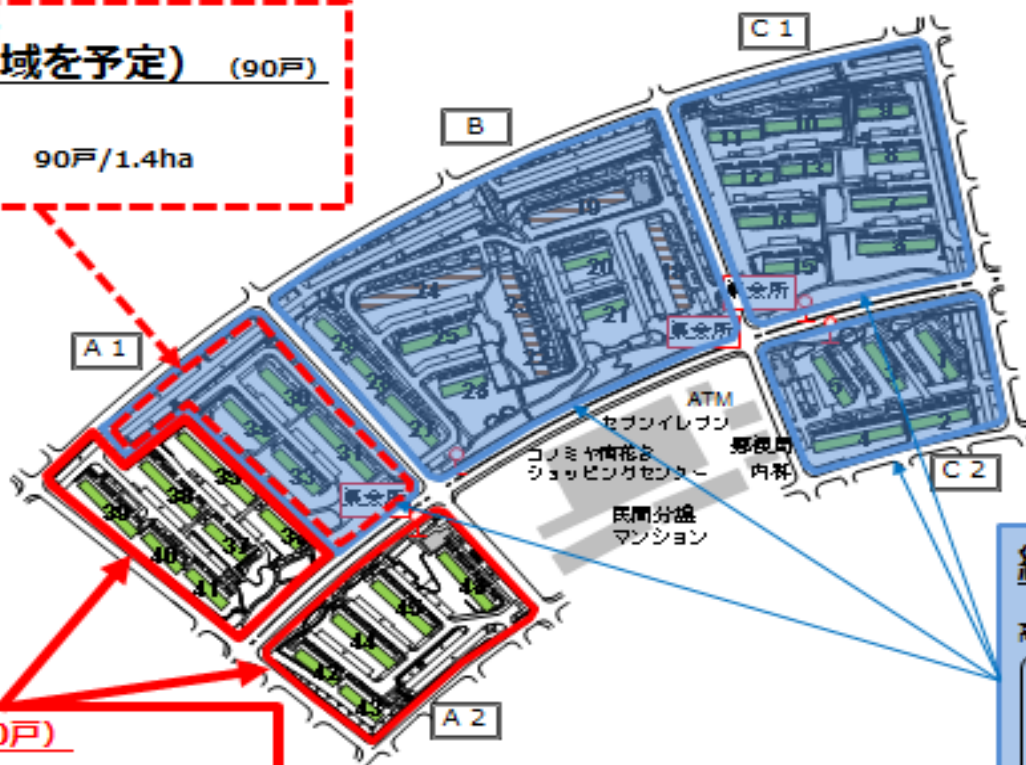
継続管理区域

(将来事業区域を予定) (90戸)

中層4棟
A1ブロック (一部) 90戸/1.4ha
(3LDK: 90戸)

事業区域 (310戸)

中層12棟
A1ブロック (一部) 180戸/1.3ha
A2ブロック 130戸/1.4ha
計 310戸/2.7ha
(2LDK: 21戸、3DK: 289戸)



400戸/1217戸
約4.1haの集約
(内、90戸 約1.4haは
将来事業区域)

⇒平成29・30年度
集約対象団地居住者移転
⇒平成31年度
集約建築物撤去
⇒平成32年度
新機能誘致

継続管理区域 (904戸)

高層5棟、中層26棟

2DK : 64戸
2LDK : 65戸
3DK : 429戸
3K : 146戸
3LDK : 200戸

今年度中にUR・関西大学・河内長野市で丘の生活拠点化に向けた協定を改めて締結予定



「咲つく南花台プロジェクト」の経過

-10-

■平成29年4月

「咲つく南花台事業者の会」発足

10年ぶりに商店会が復活

多様な事業者が参画



- コミヤ南花台店
- 錦秀会看護専門学校
- おしお幼稚園
- 南嶺保育園 など参画





「咲っく南花台プロジェクト」の成果

-11-

〇〇ワークショップ

ファミリーサポート

まちづく
り機運
醸成

UR団地再編

まちの保健室

すまいるルーム

ニコニコサロン

カヌーづくりP

コノミヤ
テラス
整備

多世代
コミュニ
ティ創出

商店会復活

まちづく
り可能性
増大

咲っく南花台健康クラブ

助け合い
の仕組
構築

買い物応援

看護学校誘致

地域住民
合意形成

咲っく南花台.COM

南花台未来予想図
づくりプロジェクト

新たな
チャレンジ





「咲つく南花台プロジェクト」の 新たなチャレンジ

-12-

チャレンジ1

市道南花台1号線
歩行者天国実証実験

チャレンジ2

UR団地集約による生活拠点
にふさわしい新たな機能



チャレンジ3

市道南花台1号線沿道の用途緩和

チャレンジ4

南花台地域内の公園集約



咲つく南花台プロジェクトの位置付けと今後の展望

「丘の生活拠点」(南花台)創生事業 中間報告会